大津 エンパワ ねっと通信



龍谷大学「大津エンパワねっと」は、 社会学部の学生と地域が協働して まちづくりに取り組むプログラムです。



〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷大学瀬田キャンパス内 (6-106教室) 社会共生実習支援室(大津エンパワねっとオフィス) TEL:077-544-7230 FAX:077-543-7615 E-mail:co-ex@ad.ryukoku.ac.jp HP:http://www.soc.ryukoku.ac.jp/gp/index.html

TOPICS

第10期生大津エンパワねっと 後期報告会





「子ども」「町の魅力」が共通の切り口に

2018年1月21日(日) 【報告会】9:20~11:45 龍谷大学 瀬田キャンパス 6号館プレゼンテーション室 【懇親会】12:00~13:00



【報告会プログラム】

- 活動発表
- ポスターセッション
- 全体講評

6号館 社会共牛実習支援室

大津エンパワねっと後期報告会は、去る1月21日(日)、 龍谷大学瀬田学舎6号館で開かれました。いつもお世話 になっている 2 つの地域の皆さまをはじめ計 50 人近い 方々にお越しいただき、学生チームの報告に厳しくも温 かいご指導をいただきました。

本プログラムでは毎年2回、公開の報告会を開いてい ます。学生たちは外の目にさらされるこの報告会に向け て、自分たちの活動を着地させようと必死に取り組みま す。その結果、それまでの活動を振り返り、自らと地域 にどのような変化をもたらすことができたのかを考える ことになります。教育上、極めて重要な場となっています



今回は瀬田東2チーム、中央2チームの計4チームが 報告を行いました。瀬田東ではいずれも「子ども」を切 り口にし、それぞれ「地域自治組織のあり方」「自主防災 のあり方」を掘り下げる活動を行いました。一方、中央 ではいずれも「町の魅力」を切り口に、「観光振興」「暮 らし方の再発見」というテーマに取り組みました。





Field

バロール

なぎさふる



今年度は、エンパワにとって大きなカリキュラム改革の 年となりました。他の実習科目との整合性をとるために、 時間割上で実習指導に費やせる時間を半減させざるを得な いなど、地域の皆さまには大きなご負担やご無理をかける ことになりました。お詫びと感謝を申し上げます。

来年度は今年度の経験を踏まえてプログラムのさらなる 改善に取り組んでまいります。引き続き、よろしくお願い 申し上げます。 (報告会担当 築地 達郎)

TOPICS

第10期生 大津エンパワねっと 後期報告会

報告会に参加して

= ご参加いただいた方の感想文より =



・それぞれ学生達は良く頑張っているし、発表もうまくなっていると感じた。少数での授業の利点が生か されたのであろう。



- ・各関係機関が独自で企画されている行事をまとめて知らせていく手法はすばらしいと思います。横のつながりを 作っていく上で非常に参考になりました。今後の地域づくりで活かさせていただきます。
- ・次期エンパワねっとに続けていける活動にしてはどうか?
- ・大津の歴史や町家に注目した活動はこれまでもあったが、「旧東海道」に注目した活動は目新しく感じた。 MAP は今後の事も考えられたもので、とても良いと思う。
- ・解決が目的ではなく、それに向けて取り組む意欲が財産となるのではないでしょうか。これからも地域と関わりを 持ちながら過ごしてほしいと願っています。

エンパワ 10 期生が成長していく姿を見守ってきた

授業担当教員からのメッセージです。

地域の皆様、10 期生の活動を1年間見守り 下さり、また、さまざまな形でご支援くださり、 ありがとうございました。おかげさまで、地域の方々 とのかかわりを通して、各チーム特徴ある活動が出 来ました。皆様のご協力により、学生たちが「子ど も会」、「防災」、「ライフヒストリー」、「旧東海道」 をキーワードに、地域での「暮らし」に多少なりと も接近させていただくことができたからではないで しょうか。心より感謝申し上げます。

スッキリ解決しない「悩み」を手放せずに

抱えながら、現場での実践は展開されているわけ

ですが、学生もその「悩み」の一端に触れる日々で

した。現場に接近していけばいくほど「悩み」が深まる

中, 学生は多くの方々のお支えもあって「悩み」と格闘す

る胆力が育まれたように思われます。深くお礼申しあげま

す。少しでも現場の悩みをほぐす一助となればとの思いを

胸に来年度も臨みますので、引き続きどうぞよろしく

お願いいたします。 (川中 大輔)

(猪瀬優理)

今年度もなんとか報告会を終えることが できました。地域の皆さまのお力添えに感謝する とともに、学生諸君の頑張りに敬意を表します。 ただ、前期における「課題発見」の過程で、学生は もっと密に地元の方々の懐に飛び込むべきでした。 それができていなかったチームは最後まで苦しむこ とになりました。学生諸君には、教科書やメディア から借りてきた観念から自由になり、「現場に学ぶ」 姿勢を大切にしていってもらいたいと願います。 (築地 達郎)

10 期生は授業時間数が減る等の変化があっ たため、少し不安を感じながらのスタートで した。しかし、少人数の利点でもありますが、 各グループの気づきや試行錯誤にていねいに関わ れたこと、また学生間でもしっかり話し合えたこと から、それぞれ深みのある企画になったと思います。 楽しいこともつらいこともあったでしょうが、すべ てが力になっているはずです。今期も活動を支えて くださった地域の皆様に心から感謝いたします。

(筒井のり子)

2/28(水): 社会共生実習運営委員会

3/7(水):大津エンパワねっとを進める会・瀬田東 3/14(水): 大津エンパワねっとを進める会・中央

3/28(水): 社会共生実習運営委員会

◆3月16日 卒業式(瀬田キャンパス)

◆4月 2日 入学式(瀬田キャンパス)

スケジュール・お知らせ



